

市制施行 二十五周年特集

合併当時の思い出

松本太郎
(都留市議会初代議長)



若葉濃く陽光に映える好季に、市制二十五周年の記念式典にお招きいただき、そのうえ初代議長であった故に、お祝いの言葉を述べる機会を得ましたことは生涯この上なく光栄に存じ、厚くお礼申し上げます。

まずもって、二十五周年の式典を心からお喜び申しあげ、過ぎし日々的一端を申し述べたいと存じます。
光陰矢の如しと申しますが、あれから早や四半世紀が過ぎたかと振り返り、記憶を辿ってみても昭和二十九年がつい先日であったような感じがしてなりません。
あの当時は特例法をもって三万人口で市制施行が可能であるとき、当地もその気運が高まり、旧谷村町当局また議会にあっても

その達成を期するため、特別委員会を設置し、この地域の自然条件・経済・文化・社会等あらゆる面から検討し、論議を尽くし、旧谷村町が中心となり、旧東桂、禾生、宝盛里の四村を含めた範囲が妥当であろうとの結論にいたりました。
山梨県当局の絶大なご指導のもと、旧四村の当局、また議会、住民のみなさま方のご理解とご協力により、誠に難産ではありましたが、昭和二十九年四月二十九日あたかも天皇誕生日の祝日に都留市は発足しました。
しかし、その合併の途上における幾多の障害、各地区における議会議員並びに村当局の昼夜をわかつたご努力は想像のつくご苦労ではなく、誠に慄然として肌を沫を生ずるの言葉も過言でなきことを思い出し、今となっては成長した市の姿をみるにつけ、なつかしきを感じざるばかりであります。
また、合併にあたり、各旧村からの要望、献策は、これを吸収する谷村町としても十二分に取入れ、何ごとも優先して施策に当るお約束のうえ、了承を得たことと今日の行政の業績からして、このことを具現されていることはご同慶にたえません。
特に当時の議会の構成は、旧町村の全議員そのままが市議会議員として議席をおかれましたので、九十余名となり、谷村町役場の楼上の会議の状況はあたかも小学校のふたクラス併合授業の観ありと

一新聞記者の笑えざる比喩した言葉を想起することもございます。今や、都留市政の発展は輝かしくその道を歩んでおります。

歴代の当局並びに議員各位は勿論のこと、市民一丸となつてたゆまざる努力とその英知の賜とが実を結んだ結果であります。往時この市制施行に微力ながら花を咲かせたことをいささか自負し、共に同感し、苦勞を同じくした物故同僚のご冥福を祈ると共に、なお一層地域社会の一員として市の発展のため限りなき奉仕をお誓い申しあげ、これからの都留市が益々発展するよう祈念しながら、合併当時の市議会議員を代表しての祝辞といたします。

都留市と

同じ日に生まれて

前田恵子



昭和二十九年四月二十九日、私は都留市と同じ日に生まれました。偶然とはいえ私にとりましては、非常に名譽なことであり、また喜びでもあります。
その上、このような記念すべき

式典にお招きいただき、祝詞をのべさせていただけますことはこの上なく幸せなことでございます。
この二十五周年都留市の発展の陰には、多くの方々の誠意と、昼夜を問わない努力があつたことでしよう。その方々には感謝と尊敬の念をいわずにはおられません。ほんとうにごくろうさまでした。

私の感じた都留市というまちは全国的にもめずらしい、公立の教員養成大学を持つ学園都市として文化的な水準が他の地域より高くまた、人口も比較的少ないせいかなままりのある、おだやかな住みよいまちだと思えます。そして、市民の皆様もおだやかな性格で、やさしく人情味豊かな人々が多いようです。
昔の城下町の風情を残す静かなたたずまいの中で、規則正しい織機の音がそここで聞こえ、それが一つのメロディーを奏でているような感じさえ受けます。その音も最近では織機の数も減つたせいかわつてい音から、沈んだ音へと変わっているように思われます。
若者達は、都会へと出て行くことが多いこのごろですが、その中で、地元に残っている青年達による、青年団活動が近年になく活発のようです。自分達の故郷を見直し、若者達が一丸となつて、明るく住みよいまちにしよつとはりきつております。このことは、たいへん喜ばしいことであり、これからの都留市の発展にとって、前途

明るい話題の一つでしょう。
さて、それでは、これからの都留市はどうあるべきでしょうか。
統一地方選も終り、昭和五十四年度がもう始まっています。地場産業の不況回復、市民病院の建設問題、その他、交通機関や教育施設の整備、福祉問題など、課題は山積みされています。
市長さんを始め、議員の皆様には、心を新たに引きしめて、都留市の発展のために力を尽していただきたいと思えます。
それにはやはり、市民の皆様の方が必要です。市民一人一人が市政に積極的に参加し、お互いの立場を尊重し、思いやりの心をたいせつにして力を合わせ、都留市の発展のために努力することが最も大切なことではないでしょうか。
私も市民の一人として、明るく、健康な町づくりにお役に立つよう努力して行きたいと思っております。



一九八〇年代に向つて、都留市が住みよ、豊かなまちとしてますます発展しますように、そして市民の皆様健康と、幸福をお祈りして、私のお祝いのごとばいたします。